

## 原水爆禁止 2020 年世界大会(オンライン)へのメッセージ

私たち佐世保市民は、かねてより平和で安全な市民生活と美しい郷土を守り、人類の繁栄と世界の恒久平和を実現することを希求してまいりました。

しかしながら、私たちのこのような願いにもかかわらず、世界では依然として核兵器の大きな脅威が存在しています。

このような中、今年には広島・長崎への原爆投下から 75 年の節目に当たり、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに原水爆禁止世界大会(オンライン)が開催されますことに対しまして、佐世保市民を代表し、原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様方並びにご参加の皆様方に、心からの敬意を表する次第であります。

多くの皆様方のご参加により、意義ある大会となりますことをお祈り申し上げまして、メッセージといたします。

令和 2 年 7 月 28 日

佐世保市長 朝長 則男

## メッセージ

原水爆禁止世界大会実行委員会におかれましては、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を世界に向けて訴え、様々な活動を展開されていることに対し、深く敬意を表します。

広島、長崎に人類史上初めて核爆弾が投下されて、今年で75年の節目に当たります。2発の爆弾で多くの尊い命が奪われました。そして、今なお原爆後遺症に苦しむ方々がいらっしゃることは忘れてはならない事実です。一瞬にして、多くの生命を奪い、その後も人々を苦しめ続ける核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会の実現は人類共通の願いです。

我が大村市は、平成7年8月15日に「非核・平和都市宣言」を行い、非核・平和都市として、最善の努力を続けていくことを宣言しています。広島・長崎の惨禍が二度と繰り返されないためには、私たち一人ひとりの平和を求める強い意志と不断の努力が何よりも大切なことと考えます。

本日の大会が、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現の新たな契機となることを、心からお祈り申し上げます。

令和2年7月3日

大村市長 園田 裕史

広島、そして長崎に原爆が投下されてから、75年の歳月が経過する中、今日まで数多くの人々が核兵器廃絶と世界平和に向けて取り組んでこられました。

しかし、いまだ地球上には多くの核兵器が存在し、人類の脅威であり続けています。私たちは唯一の被爆国として、かつて核兵器によってもたらされた惨禍を繰り返さぬよう、原爆の恐ろしさを後世へと伝え、核兵器廃絶の声を上げ続けなければなりません。

私たち一人ひとりが平和への思いを共有し、世界へと広め、一日も早く、核兵器のない世界が実現することを願っております。

諫早市

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマとして開催されます原水爆禁止2020年世界大会のご盛会を心からお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが世界的な感染拡大を見せる中、今回の世界大会はオンラインにより開催されます。

逆境に屈せず活動のさらなる前進を目指して、被爆者と共にあらゆる手段をつくり、これまで以上に力強く世界中の人々に核兵器の廃絶を訴えていこうとする、皆様の熱い想いとこれまでの取り組みに対して深甚なる敬意を表します。

また、今年には被爆から75年の節目を迎えます。大会と呼応して実施される『平和の波』と称した地球の自転に合わせて世界をまわる草の根の共同行動により、世界各地において多彩で創意的な平和活動が展開されることを期待しております。

本大会を機に、平和を願う人々の輪が世界各地へさらに広まり、核兵器のない平和な世界が一日も早く実現しますことを心から祈念いたします。

長崎県松浦市長 友田吉泰

## 原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止2020年世界大会の開催に際し、誠に意義深く皆様方の取り組みに深く敬意を表します。

被爆から75年という節目を迎えた2020年。被爆者の高齢化が進み、記憶の継承が課題となっている近年ですが、国民があらためて命の尊さについて見つめ直し、ひとりひとりの平和への願いを世界へ反映させていくことが必要です。

今後ますます核兵器の廃絶を求める声がより多くの方々に伝わり、平和で公正な世界の実現へ向けた多大なる一歩となることをご期待申し上げ、今大会の成功を心よりお祈りいたします。

佐々町長 古庄 剛

## 原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」が開催されるにあたり、時津町民を代表してお喜び申し上げます。

皆様方が長年にわたり、核兵器のない平和で公正な世界の実現のためにご尽力されておりますことに、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

広島と長崎が被爆してから、75 回目となる節目の夏を迎えようとしています。

私たちは、世界唯一の被爆国の国民として、あの惨禍が絶対に繰り返されることのないよう、全世界に向けて核兵器の廃絶と恒久平和を訴え続けています。

新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るう中、私たちの生活に多大な影響を与え、その影響は未来の平和を担う子ども達へつなぐ平和学習の場にも及んでいます。平和学習の一環として長崎、広島を訪れていた学校も相次いで中止を決定し、平和を学ぶ機会が失われています。

このようなコロナ禍の中、「原水爆禁止 2020 年世界大会」がオンラインで開催されますことは、大変意義深いことであり、こうした取り組みが、一日も早く実を結び、核兵器のない世界が訪れますことを切に願っております。

最後に、本大会のご成功並びに、皆様の今後ますますのご健勝及びご活躍を心からお祈り申し上げ、メッセージといたします。

令和 2 年 7 月

長崎県 時津町長 吉田 義徳



## 原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

原爆投下から75年。多くの方が被爆され、今でも原爆の恐怖は消えず、被爆者の心が癒えることはありません。

長与町は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務と考え、1994年に「平和で安全な町」を宣言し、紛争と戦争のない世界の実現を望んでいます。

例年8月には、町独自の事業として、「平和コンサート」「平和のつどい」などの平和事業に取り組み、原爆被爆者の慰霊と恒久平和の願いを、町民と共に発信いたしております。

世界大会に参加される皆様並びに、貴実行委員会の関係者の皆様に敬意を表しますと共に、原水爆禁止2020年世界大会が無事終了し、所期の目的が達成されますことを心から願っております。

長与町長 吉田 熾一

## 「原水爆禁止2020年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」のご盛会をお祝い申し上げますとともに、世界の平和を願い、核兵器廃絶運動を展開してこられた皆様方のご努力に対しまして、心から敬意を表します。

さて、近年の国際情勢は、核軍縮や核不拡散に向けた国際的潮流が大きな力となってきている一方で、今もなお世界には13,000発を超える核兵器が存在し、未だに核兵器の拡散や使用の危険さえ憂慮されています。

これを契機に、我々は核兵器による唯一の被爆国として、また核兵器のない平和な世界を希求する国として、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をこれまで以上に強く訴えていかなければならないと考えております。

私といたしましても、「核兵器のない平和で公正な世界」の実現に向け、平和で住みよい郷土を築き、後世に引き継ぐため、今後も努力して参りたいと存じます。

結びに、原水爆禁止世界大会実行委員会のますますのご発展と本大会が核兵器廃絶や国際社会の平和と安定の実現に向けた大きな力となりますことを祈念し、メッセージといたします。

2020年7月27日

長崎県島原市長 古川 隆三郎